JGC 日揮グループ

2026年度　第２四半期　決算説明会

事業概況



2026年11月11日

日揮ホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長CEO

佐藤 雅之

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

目次



総合エンジニアリング事業

1. マーケット環境の現況
2. 2026年度上半期の受注実績と下半期の注力案件
3. 主要な受注プロジェクト-LNGカナダプロジェクト第2期拡張計画
4. TOPIC-先端技術産業分野への取り組み

機能材製造事業

1. 上半期の実績とマーケット環境の見通し
2. 機能材製造事業の半導体分野への取り組み

JGC 日揮グループ

総合エンジニアリング事業



1. マーケット環境の現況

海外

【エネルギー分野】

- エネルギー安全保障やエネルギーアフォーダビリティの観点から、**天然ガス・LNG**需要は中長期的に継続する見通し。アジアや中東を中心に天然ガス・LNG案件が存在。
- **水素・アンモニア、SAF、CCS**の設備投資計画は存在するが、その実現は各国の補助金政策や規制導入、事業経済性次第。多くの計画が実証段階にとどまっており、設備投資の実現は限定的。

【一般産業分野】

- **半導体関連分野**や**データセンター**等の設備投資計画が、東南アジアなどを中心に着実に進展。

国内

- **エネルギー分野**では既存製油所の改修を中心に設備投資計画が進展。
- 制度設計の進展などを背景に**SAF製造設備**の投資計画が進展。2026年度内の実現を期待。
- ライフサイエンス分野では、**バイオ医薬品**を中心に既存施設改造計画などが進展。
- **食品関連分野**の設備投資（工場自動化など）、**半導体関連分野やデータセンター**等の設備投資計画が進展。
- **保全業務**もベースロードとして毎年安定した需要。

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

2. 上半期の受注実績と下半期の注力案件

2026年度受注目標合計：**1兆7,400億円**

上半期 受注実績 1,726億円	LNGカナダプロジェクト 第2期拡張計画EPC 受注分※　※第3四半期に計上予定。 （約75億米ドル）	下半期 注力案件

	海外	国内
2026年度 受注目標	**1兆6,000億円**	**1,400億円**
上半期 受注実績	**1,170億円** • モザンビーク　FLNG　等	**555億円** • 保全業務（複数） • 製油所改修 • 原子力関連工事　等
下半期 注力案件	• カナダ　LNG※　※本年10月にEPC契約を受注。 • パプアニューギニア　LNG　等	• SAF製造 • 食品関連工場 • 医薬品製造工場増設・改造 • 保全業務（複数）　等

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

3. 主要な受注プロジェクト – LNGカナダプロジェクト第2期拡張計画

■ **本年10月にEPC契約が発効**

■ **日揮グループ史上最大の受注金額（当社受注額約75億米ドル）**

■ **昨年12月に完工・引き渡しを達成した第1期工事の経験を活かし、完工に向けて着実に遂行**

プロジェクト概要

契約先	LNG Canada社
建設予定地	カナダ ブリティッシュコロンビア州キティマット地区に位置するLNG Canadaプロジェクト（第1期）の隣接地
役務内容	LNGプラントの拡張(年産700万トン×2系列)に係る設計、機材調達、建設工事（EPC）役務
納期	2030年代前半



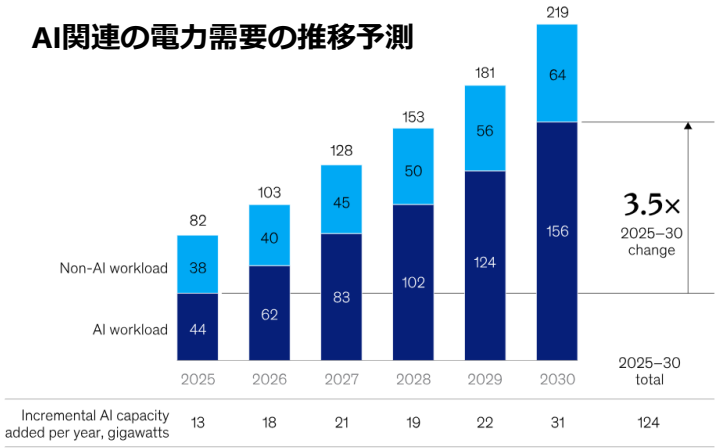
LNGカナダプラントの全景（第1期工事完工時点）

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

4. TOPIC-先端技術産業分野への取り組み

先端技術産業分野のマーケット環境

- AIに関連する技術革新と**設備投資が拡大**
- これに伴い、高性能半導体の生産能力増強や大規模データセンターの整備に向けた**投資が活発化する見通し**
- こうした需要を取り込むため、世界各地で半導体工場の**新設・増強**や、大規模データセンターの**建設計画が進展**



出典：Inside India's Data Center Build-Out - by Singularity AMC

顧客の現状

大規模設備投資案件が増加する一方、顧客・施工側で案件全体を計画・統括・遂行できる人財が不足。
顧客は品質とスピードを両立し、**プロジェクト全体を確実に遂行するパートナーを追求**。

【顧客の設備投資決定までの流れ】

企画
用地選定など

→

概念設計
生産能力、設備構成、ユーティリティ設備の基本方針の決定

→

基本設計
建屋と設備を統合した最適設計

→

詳細設計・建設

企画から概念設計・基本設計の知見補強の必要性

設計や建設工事を任せられる会社の不足

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

4. TOPIC-先端技術産業分野への取り組み

顧客の課題

プロジェクト遂行・管理の負担

プロジェクト遂行における品質・工程・コストの最適化と、変更管理の重要性の高まり

設備・ユーティリティーの最適化

空調・電気等の設備に加え、ユーティリティ設備など、多岐にわたる設備の統合設計と最適化の実現

急速な技術進化への対応

技術革新が加速する中、最新の技術動向を踏まえた最適な工場設計の実現

課題解決を支える日揮グループの強み

エネルギー関連プラントEPCの知見

大規模かつ複雑なプロジェクト遂行で培った設計力やトータルマネジメント力



医薬品製造工場EPCの知見

クリーンルーム、ゾーニング・レイアウトを含む、建築と設備を統合した設計・建設の遂行能力



Exyte社との協業による最新の知見

先端技術関連分野に豊富な実績を持つExyte社との協業を通じて、基本構想・基本設計から建設まで、一貫して顧客を支援。

NiXYTE
A MEMBER OF JGC AND EXYTE GROUP

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

JGC 日揮グループ

機能材製造事業



1. 上半期の実績とマーケット環境の見通し

2026年度 上半期実績/ 2026年度目標

売上高

上半期実績	2026年度見通し
301億円	615億円

マーケット環境/ 2026年度下期の方針

触媒・ファインケミカル **日揮触媒化成（C&C）**

<マーケット環境>
- 海外を中心に**石油精製触媒の需要が堅調**。
- **半導体やエレクトロニクス市場が好調に推移し**、シリカゾルを中心とする**ファインケミカル製品全般で需要が拡大**。

<2026年度下期方針>
- 触媒分野は、**海外顧客への拡販**、**低・脱炭素分野向け製品の展開**を推進。
- ファインケミカル分野は、シリカゾルなど高需要製品の**増産**と**販路の拡大**を目指す。

ファインセラミックス **日本ファインセラミックス（JFC）**

<マーケット環境>
- **生成AI向け**を中心とした半導体市場の**好調を**背景に、**半導体製造装置関連製品や、データセンター向け電子材関連製品の需要が拡大し、受注、売上とも大幅に増加**。
- 欧州でのEV向け補助金の復活あるいは上乗せによってEV需要が回復傾向にあり、欧州を中心にEV向け**高熱伝導窒化ケイ素基板の需要が回復**。

<2026年度下期の方針>
- 生産性の向上、増強のための**設備投資を計画**。

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

2. 機能材製造事業の半導体分野への取り組み

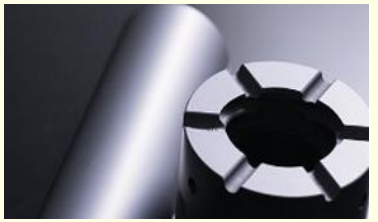
半導体設計
前工程
後工程
モジュール組み立て

半導体製造装置向け部品

JFC

具体的な製品：露光・検査装置向けの精密ステージ部材・ウェハ保持部材、洗浄装置向け耐食部材、ウェハ固定用部材等

強み：他社実績の少ないニッチ材料の開発から精密加工まで一貫して対応し、耐熱性・耐摩耗性・耐食性・寸法安定性など、顧客が求める特性を実現。



セラミックス製精密部品

半導体材料向け素材

C&C

具体的な製品：シリコンウェハの研磨砥粒（コロイダルシリカ）

強み：ナノ粒子の粒径・形状制御技術と顧客の要求に応じた材料開発力



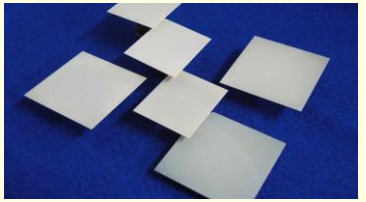
半導体研磨剤に用いられるシリカゾル

半導体向け基板 ・ 光／電子回路

JFC

具体的な製品：高熱伝導窒化ケイ素基板（SN基板）

強み：従来の製造方法より優れた焼結技術により、原料の安定調達や価格の安定化を実現。高い熱伝導率や、優れた機械的性質（高い曲げ強度や破壊靭性）、絶縁性を持つ。



高熱伝導窒化ケイ素基板

今後のターゲット

- **拡大するAI半導体需要を着実に取り込むべく、上記商材を中心とする製品群の生産能力増強に向けた設備投資を推進**

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。
従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。
本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>

日揮ホールディングス株式会社
ファイナンス・IRオフィス IRユニット
Tel : 045-682-8026　Fax : 045-682-1112
E-mail : ir@jgc.com

© 2026 JGC HOLDINGS CORPORATION